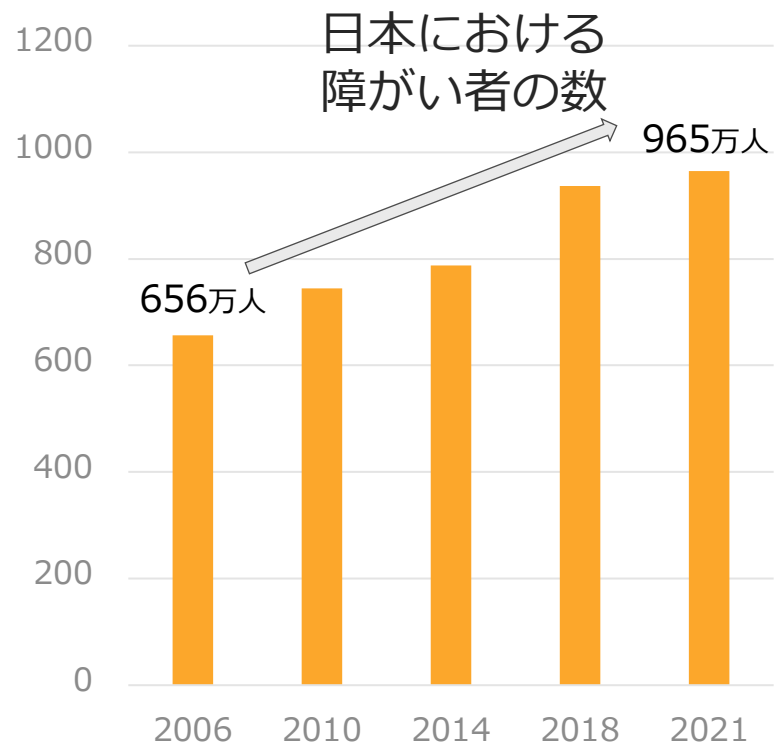
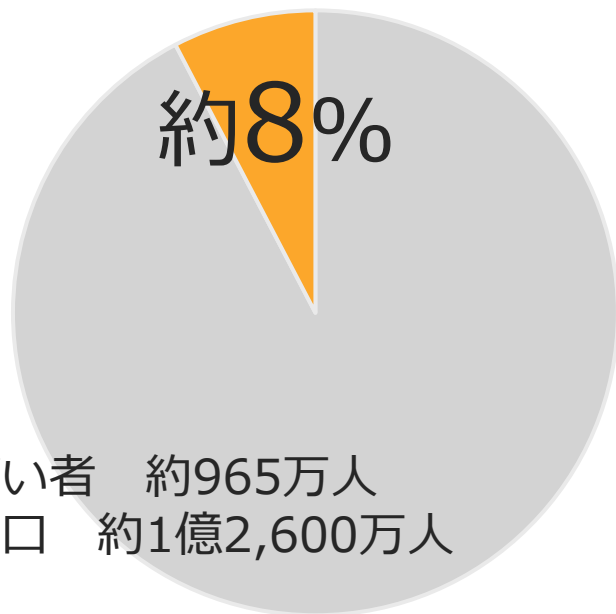


# LIVES 2021 FACT 障がい者の数

日本の総人口に占める  
障がい者の割合

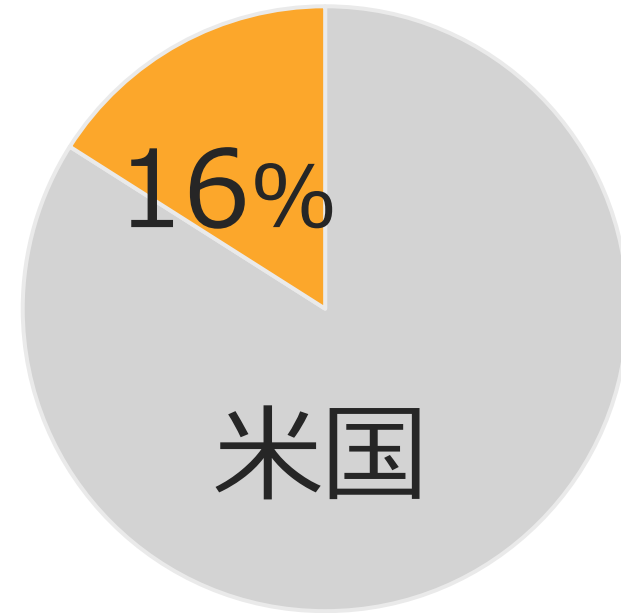
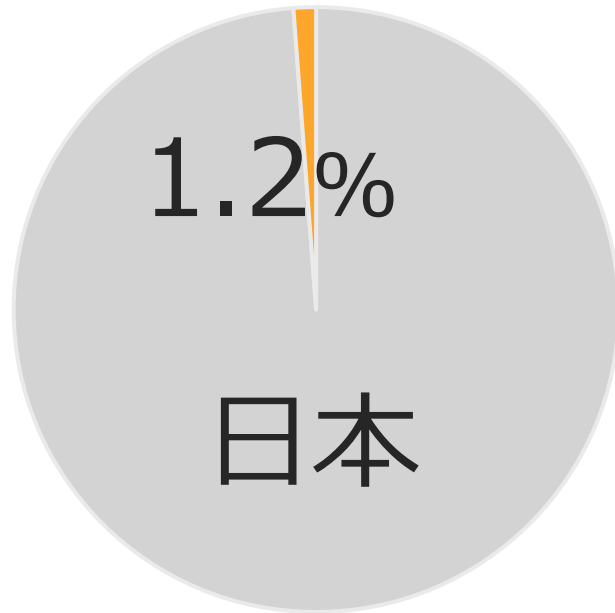


人口の約**12**人に1人に障がいがある  
障がい者の数は**増加**している

出典：総務省「人口推計-2021年7月報」、内閣府「令和3年版障害者白書」

# LIVES 2021 FACT 障がい者の進学

高等教育機関に在籍する  
障がいのある学生の割合

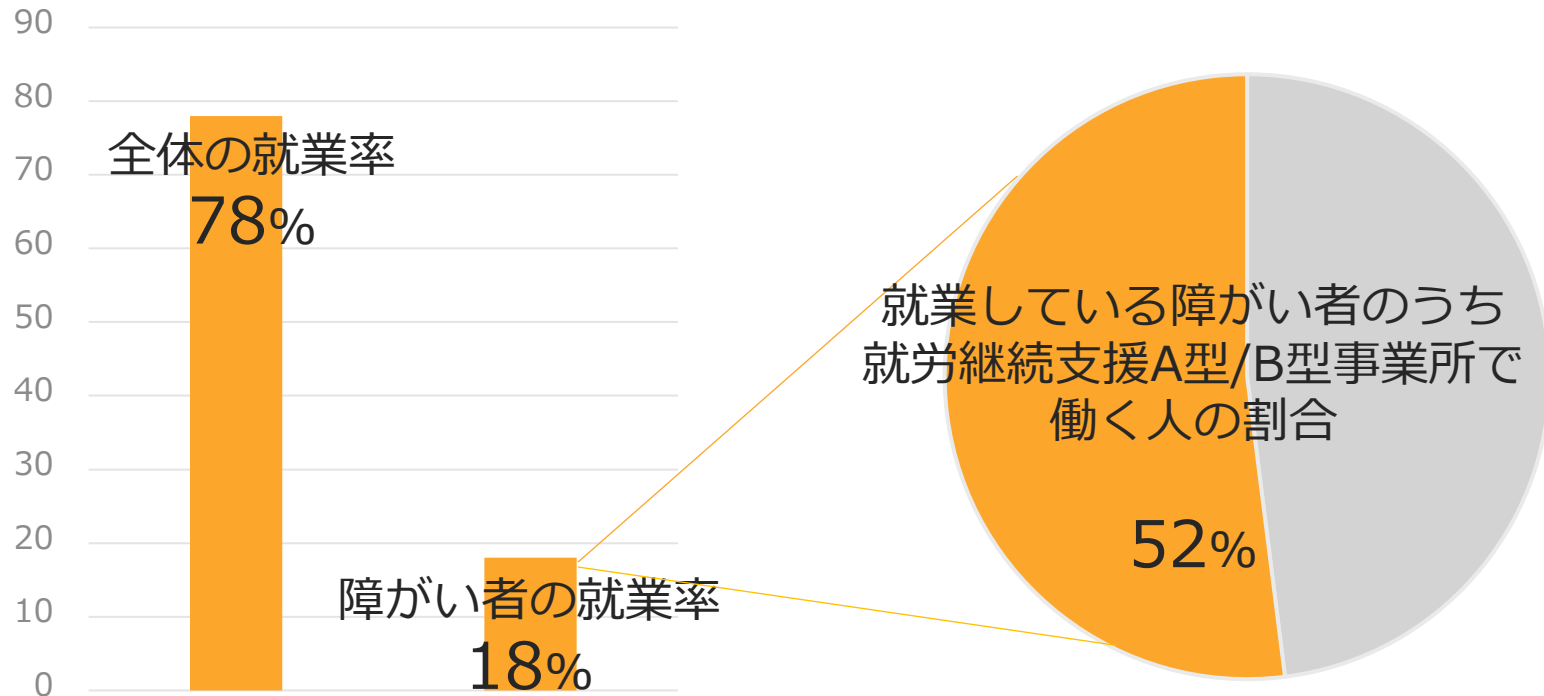


日本の障がいのある学生が高等教育機関で占める割合は  
米国と比較して**著しく低い**

出典: 日本学生支援機構「令和元年度大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査結果報告書」、National Center for Education Statistics“ Percentage distribution of students enrolled in postsecondary institutions, by level, disability status, and selected student characteristics: 2015-16”

# LIVES 2021 FACT 障がい者の就業

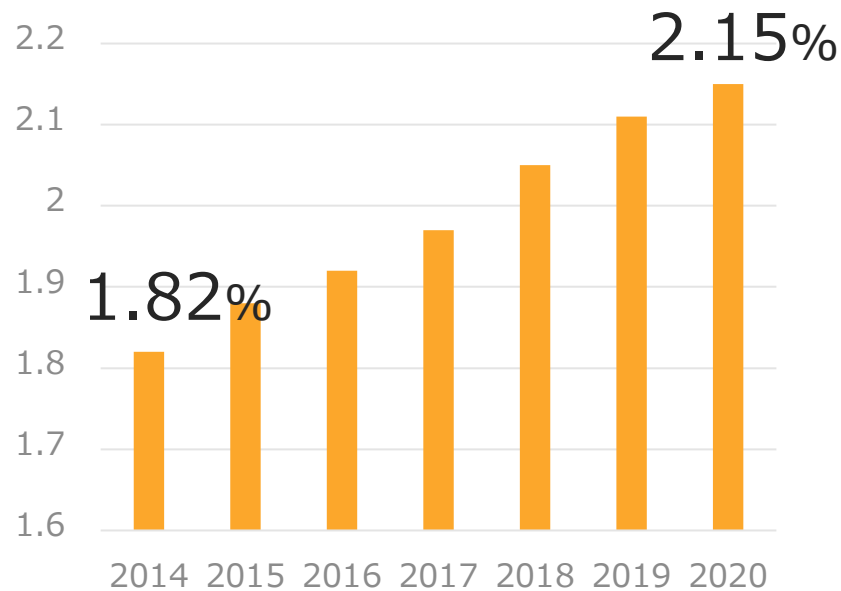
労働人口全体の就業率と  
労働年齢にある障がい者の就業率の比較（日本・推計）



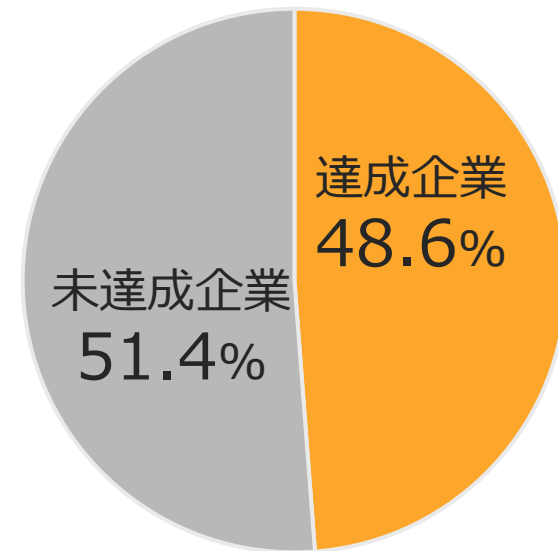
障がい者の就業率は平均の**4分の1**  
また、その**半数以上**が就労支援事業所で働いている

# LIVES 2021 FACT 障がい者の就業

民間企業による実雇用率の推移



民間企業による法定雇用率  
達成の割合 (2020年)\*



\*2020年 民間企業の法定雇用率 2.2%  
(2021年3月1日以降 2.3%)

民間企業全体の実雇用率は上昇しているが  
法定雇用率を達成している企業は**半数に満たない**

# LIVES 2021 FACT 難病者の社会制度の状況

## 国内で障がいや難病のある人の 社会保障制度の状況

希少疾患・難治性慢性疾患

**700万人**~<sup>\*3</sup>

指定難病  
(受給者証所持者数)

**95万人**<sup>\*2</sup>

障がい者  
(手帳所持者数)

**727万人**<sup>\*1</sup>

※手帳を持たない方を含む障がい者数は約965万人

国内人口1億2714万人

\*当事者数重複有 \*手帳や証未所持の当事者も存在

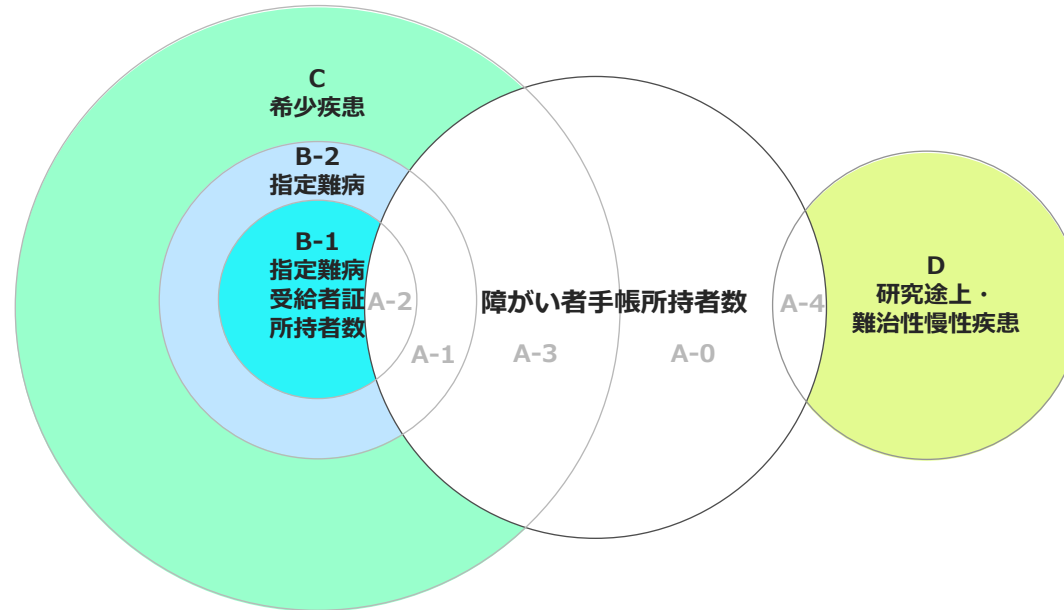
	希少疾患・難治性慢性疾患	指定難病 (受給者証所持者数)	障がい者 (手帳所持者数)
法制度	——	難病の患者に対する 医療等に関する法律	障害者雇用促進法
		障害総合支援法	
		生活保護証、障害者差別解消法	

出典 \* 1 平成30年度福祉行政報告例及び衛生行政報告例

\* 2 R元年7月特定医療費（指定難病）受給者証所持者数

\* 3 公的調査なし、希少疾患や受給者証未所持の指定難病含む、その他難治性慢性疾患（重複有）

# LIVES 2021 FACT 難病者の疾患の定義や区分

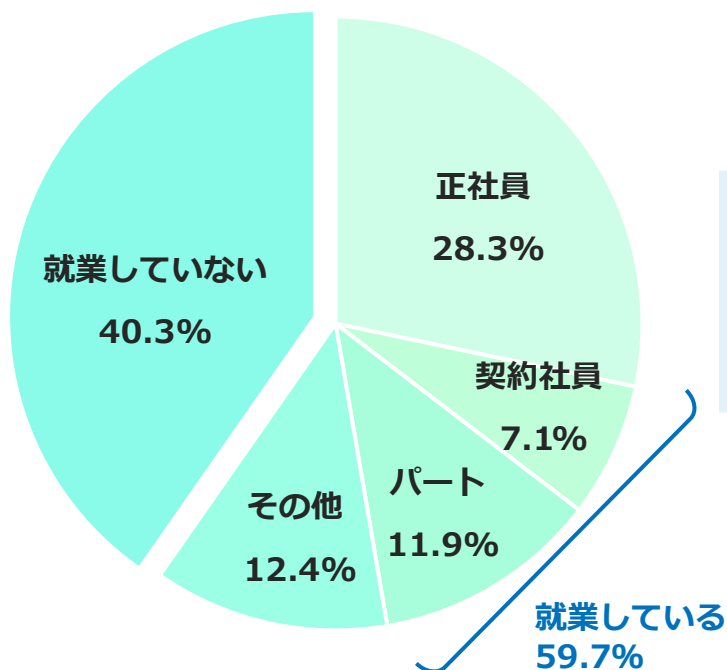


		障がい者手帳所持者数 727万人	指定難病受給者証所持者数 95万人	患者数
障がい者	A-0	●	—	
指定難病	A-1	●	—	95万人
	A-2	●	●	
	B-1	—	●	
	B-2	—	—	
希少疾患	A-3	●	—	指定難病含め人口比 6%以上 (700万人～) 公的調査なし *1
	C	—	—	
研究途上・ 難治性慢性疾患	A-4	●	—	400万人以上 公的調査なし *2
	D	—	—	

\*1 希少疾患：国や地域ごとに要件は異なるが大よそ次の通り、日本は患者数5万人未満（薬機法）、米国では患者数20万人未満、欧州では人口1万人に5人未満の発症率

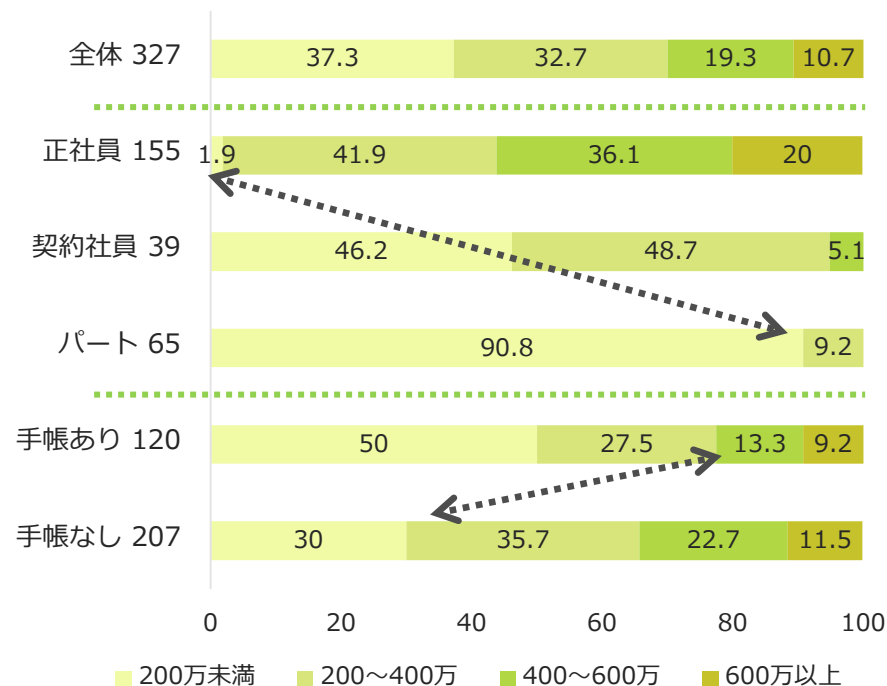
\*2 研究途上の難治性慢性疾患：線維筋痛症、筋痛性脳脊髄炎／慢性疲労症候群、脳脊髄液減少症、化学物質過敏症など研究間もなく比較的患者数が多く、制度要件に該当し辛い慢性症状が主たる疾患（独自の定義）

■ 現在の就業状況 (n=548)



【参考】  
[総務省統計局「労働力調査」](#)  
 令和2年度の15~64歳就業率77.3%

■ 現在就業者の年収 (現在就業者n=327)



【参考】  
[国税庁「民間給与実態統計調査」](#)  
 令和元年の給与所得者の年収は  
 200万未満 22.9% 200~400万 31.9% 400~600万 24.7%  
 600万以上 20.5% 正規平均503万 非正規平均175万

**難病者の就業率は一般より低く、就業しても給与水準は低い。  
 就業において難病があることのハンデは大きい**